

# 塩竈市景観計画に関する取り組みについて

塩竈市建設部都市計画課

本市は風光明媚な島々や、鹽竈神社をはじめとする歴史的建造物、風情を残す街並みなど、他の地域にはない貴重な景観資源を数多く有しており、平成23年4月に景観法に基づく景観行政団体に移行した。今後、復興事業が進む中、定住や交流につながる魅力ある景観形成の取り組みを推進するため、平成25年度は、計画策定に向けた基礎調査を行った。

## 1. アンケート調査の結果

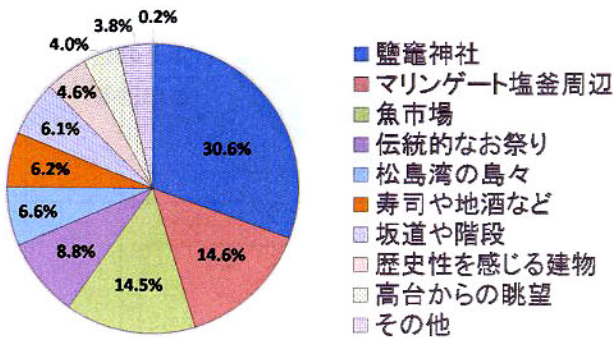
### (1) 調査対象

| 対象        | 対象者数  | 回答者数  | 回答率   | 実施期間           |
|-----------|-------|-------|-------|----------------|
| 20歳以上の市民  | 1,000 | 335   | 33.5% | 平成26年3月20日～27日 |
| 市内事業所     | 100   | 51    | 51.0% | 〃              |
| 市内中学1・2年生 | 951   | 863   | 90.7% | 平成26年3月19日～20日 |
| 塩釜高校1・2年生 | 800   | 705   | 88.1% | 〃              |
| 合計        | 2,851 | 1,954 | 68.5% | —              |

### (2) 現在の景観に対する意向

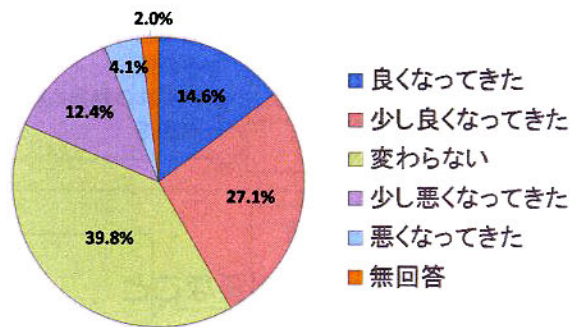
#### ①「塩竈らしい」景観

鹽竈神社が最も多く、次いでマリンゲート塩釜や魚市場、伝統的なお祭りなどとなっている。



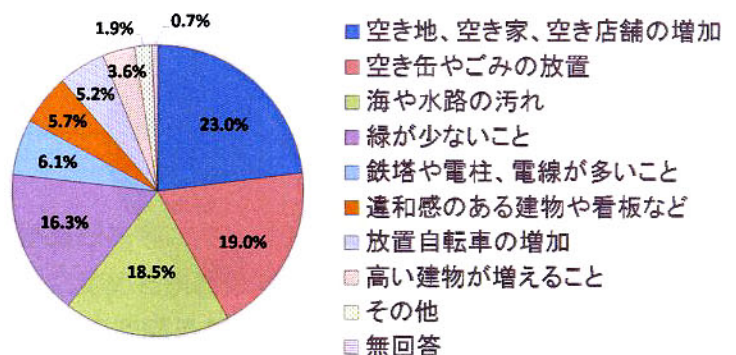
#### ②以前の景観との比較

「良くなってきた」、「少し良くなってきた」が41.7%で、「変わらない」を上回った。



#### ③景観を悪くする要因

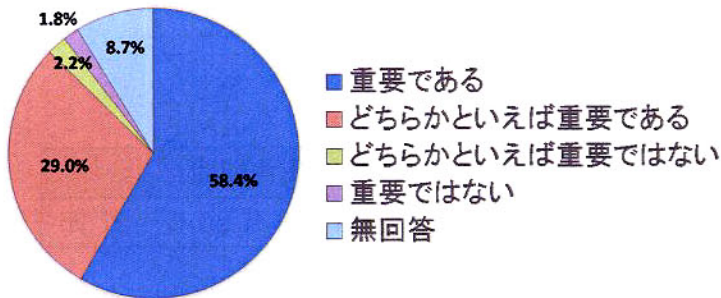
「空き地、空き家、空き店舗の増加」が最も多く、次いで「空き缶やごみの放置」、「海や水路の汚れ」の回答が多かった。



### (3) これからの景観づくりと制度に対する意向

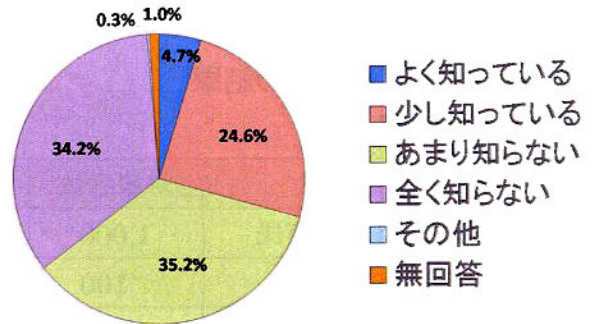
#### ①景観づくりの重要性

「重要である」、「どちらかといえば重要である」の回答が全体の87.4%を占めており、良好な景観形成が必要であると考えている市民が多い。



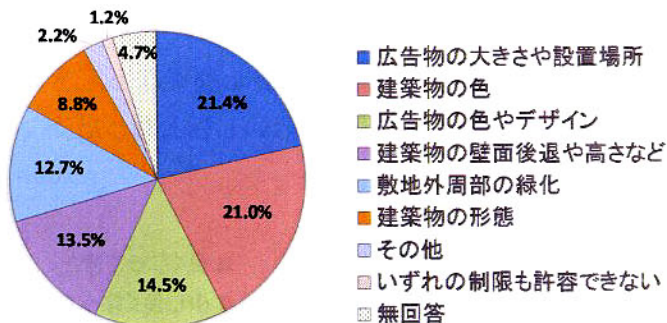
#### ②「塩竈の景観を守り育てる条例」の認知度

「あまり知らない」と「全く知らない」をあわせると69.4%を占め、既存条例の認知度が低い結果となった。



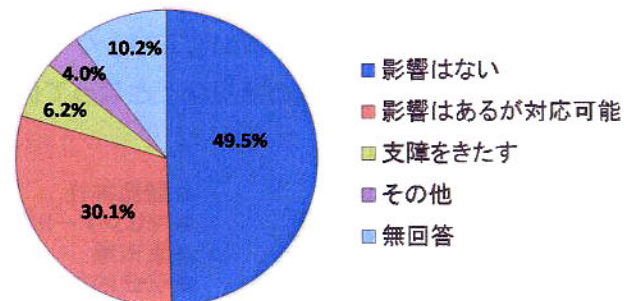
#### ③制限を定める場合許容できるもの

「広告物の大きさや設置場所」、「建築物の色」、「広告物の色やデザイン」が多くあげられた。



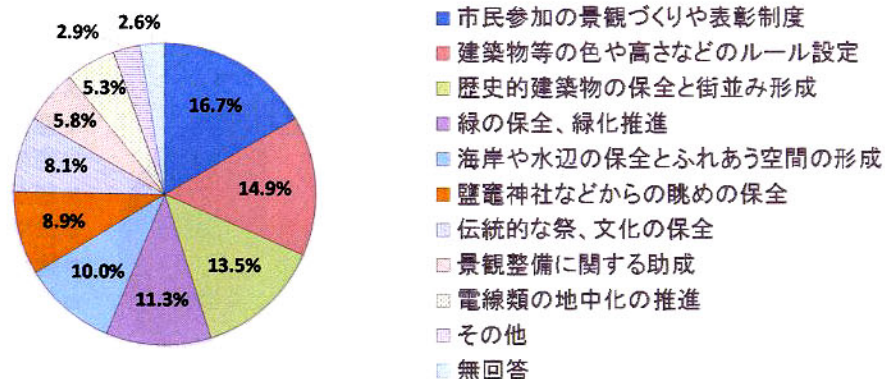
#### ④制限による影響

「影響はない」、「影響はあるが対応可能」をあわせると79.6%で、「支障をきたす」は6.2%にとどまった。



#### ⑤良好な景観形成に必要なこと

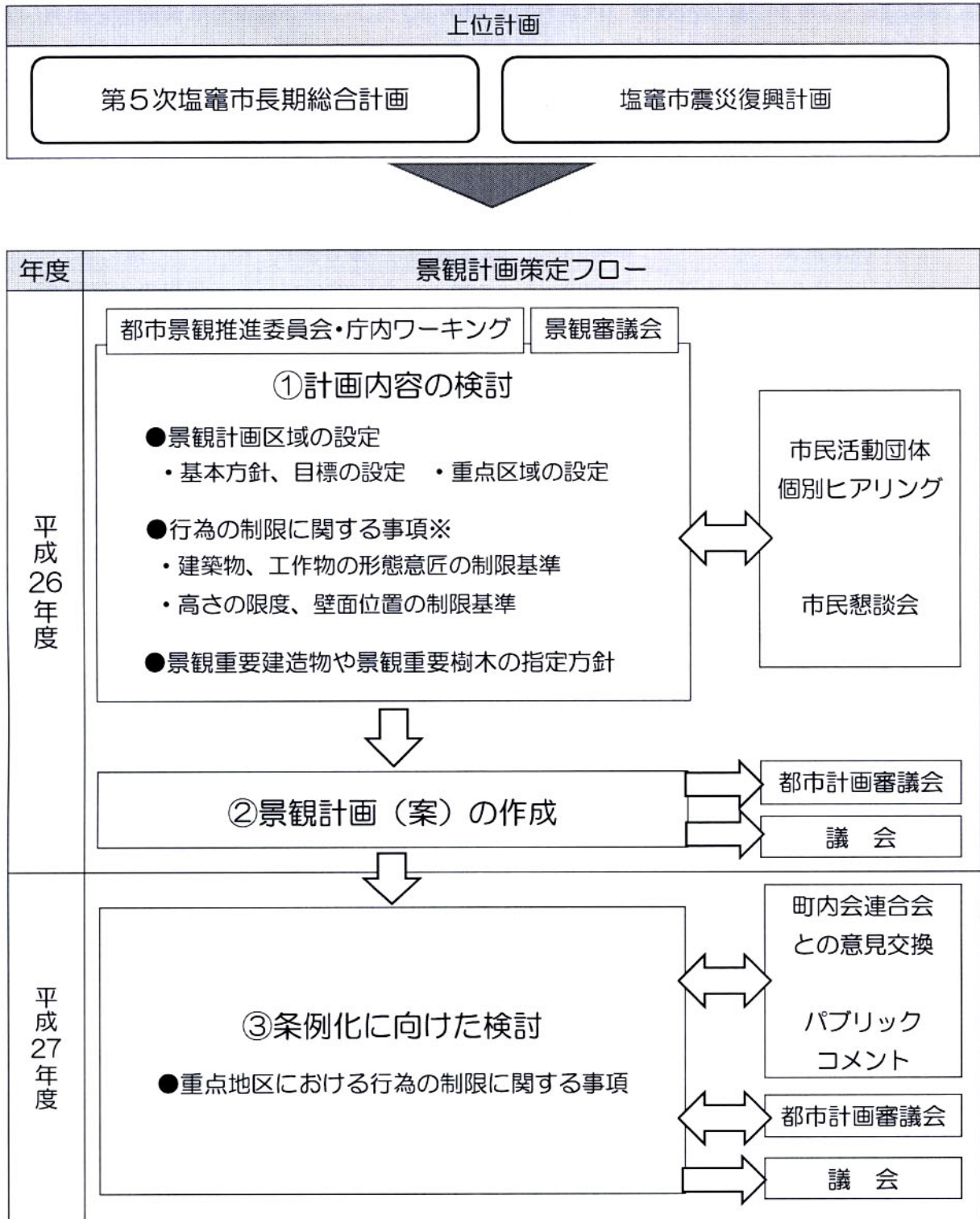
「市民参加の景観づくりや表彰制度」、「建築物などに関するルール設定」、「歴史的建築物の保全と街並み形成」、などの回答が多かった。





## 2. 今後の進め方

昨年度の調査結果及び上位計画との整合性を図りながら、景観法で規定される事項を中心に検討し、「塩竈市景観計画」を策定する。



※行為の制限とは

景観法に基づき、景観計画区域内で行う建築行為等に対し、自治体が定める一定の条件に該当するものについて届出を課し、景観計画に定める景観形成の方針・規制誘導基準に基づき、形態意匠等の適合を審査し、良好な景観形成を図るもの。